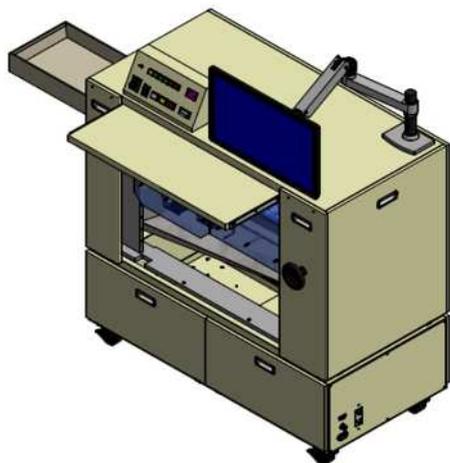


作業性検査（クレペリン検査） 記号読取機

FJE-775MR



| 名称 | 型式 | 価格 |
|-------|-----------|-------------|
| 記号読取機 | FJE-775MR | ¥11,760,000 |

製品概要

本機は鉄道総研式、運転適性検査処理プログラムと合わせて使用する記号読取機です。
作業性検査（内田クレペリン検査）のほかに鉄道総研式識別性検査用紙も読み取ることができます。

記号読取機は、内田クレペリン作業性検査、J1021：適性検査等の各記入済み用紙を自動的に記号読取る事を目的とした機器です。
紙送り機構は、現在FAX、複写機器に使用されているワンウェイクラッチを使用し、誤動作時に白黒レベル調整によって感度調整できるようになっています。
機構下部の用紙収納部は、検査用紙をローラにて搬出後、読み取り順に用紙を収納できるようになっています。
なお、移動用にストッパ付きキャスタを取り付けています。

制御部

データ処理用計算機より送られてくる用紙フォーマットおよび、検出位置データを元にイメージデータを解析し、処理用計算機の入カインタフェース信号に合わせて変換し出力するものです。
入力信号はイメージスキャナによりイメージデータとして入力され、変換器内の記憶素子に記憶し、必要なデータ処理を行います。
その後インタフェースラインにビットパターン信号をシリアル通信（RS-232C）の伝送方式で出力し、鉄道総研プログラムにデータ送信します。

使用条件

- ① FJE-775MR記号読取機は単体では使用できません。
必ず、鉄道総研式適性検査処理PGと接続し、作業性・運転適正検査ソフトウェアと連動して使用してください。
- ② FJE-775MR記号読取機は使用状況に応じて、給紙ローラー交換、オーバーホール等の定期的なメンテナンスを必要とします。
 - A) 定期点検 1年ごとに動作状態をチェックします。使用量の多いユーザー殿にお勧めです。
給紙ローラーが部位により磨耗度がちがいますので、ローラーのローテーションなどを行います。
 - B) ローラー交換 4～5年ごとに検査用紙を送る、給紙ローラー、タイミングベルトを交換します。
消耗部品のローラーとベルトの交換ですので、全てのユーザー殿が対象になります。
 - C) オーバーホール 8～10年ごとに検査用紙を送る、ベアリング、給紙ローラー、タイミングベルト、給紙トレイ、紙送り底板など、消耗部品はすべて交換します。
こちらも全てのユーザー殿が対象です。